

平成23年度 豊かなむらづくり全国表彰事業 東北ブロック受賞団体の取組概要

【農林水産大臣賞】

～夢のある一集落一農場の実現を目指して～

受賞団体：農事組合法人 ^{みやもりがわ}宮守川上流生産組合（岩手県遠野市）^{とおのし}

◆むらづくりの背景・経緯

宮守川上流地域では、第2種兼業農家や自給的農家といった小規模経営の農家が大半を占めており、5a区画のほ場が地域の8割を占めるなど、大型機械の導入も難しい状況であった。このような中、平成6年から始まったほ場整備事業を契機に、生産効率の悪い零細規模の自己完結型農業から脱却するために「一集落一農場」構想について地域内の合意形成を図り、この構想を実現するため、平成8年に宮守川上流生産組合を設立した（平成16年に法人化）。

◆むらづくりの内容

○農業生産面

水稲の作業受託や農業機械の共同利用、ブロックローテーションによる大豆の集団転作等に取り組んでおり、農地の利用集積率の向上、水稲生産の低コスト化、土地利用型作物の生産拡大が図られている。

また、組合への農作業委託により余裕のできた労力を活かし、高齢者でも作業ができるわらびやブルーベリーを導入し、観光農園の取組も行っている。

さらに、所得の向上と雇用の確保を図るため、平成15年に農産物直売所を開設、平成22年には農産物加工所も設置し、生産から収穫、そして加工・販売まで手掛ける6次産業化の取組も進めている。



大型機械による大豆の収穫

○生活・環境整備面

農産物直売所「サンQふる郷市場」を会場に、焼肉祭り、収穫祭、かかし祭りなど、地域住民や近隣の住民がともに楽しめるイベントを企画し交流を行っているほか、小・中学生等の農作業体験学習の受入れやグリーン・ツーリズムにも熱心に取り組んでいる。



農産物直売所「サンQふる郷市場」